

令和7年度

大牟田市自然環境調査報告書

調査地区：上内地区



上内地区の自然

令和8年5月
大牟田市

大牟田市では、令和5年3月に「第3次環境基本計画」を策定し、自然共生社会の実現を基本方針のひとつに掲げ、自然環境の保全を重要な課題のひとつと位置づけていることから、自然環境に関する調査を実施し、その調査結果を自然環境保全の基礎資料として活用しています。

本報告書は、令和7年度に実施した上内地区の自然環境調査結果を分野ごとに取りまとめたものです。

目 次

1 調査目的	1
2 調査分野と調査実施期間	1
3 調査区域	2
4 調査方法	3
5 調査結果	4
(1) 植物	4
(2) 鳥類	21
(3) 昆虫類・クモ類	24
(4) は虫類・両生類	33
(5) ほ乳類	35
6 まとめ	37

1 調査目的

本調査は、大牟田市第3次環境基本計画（令和5年3月）に基づき、自然環境保全の基礎資料とするとともに、市民・事業者等の啓発に資するため実施した。

2 調査分野と調査実施期間

調査対象分野は表1の各分野とし、担当の大牟田市自然環境調査研究専門委員が春季、秋季の2回調査を実施した。

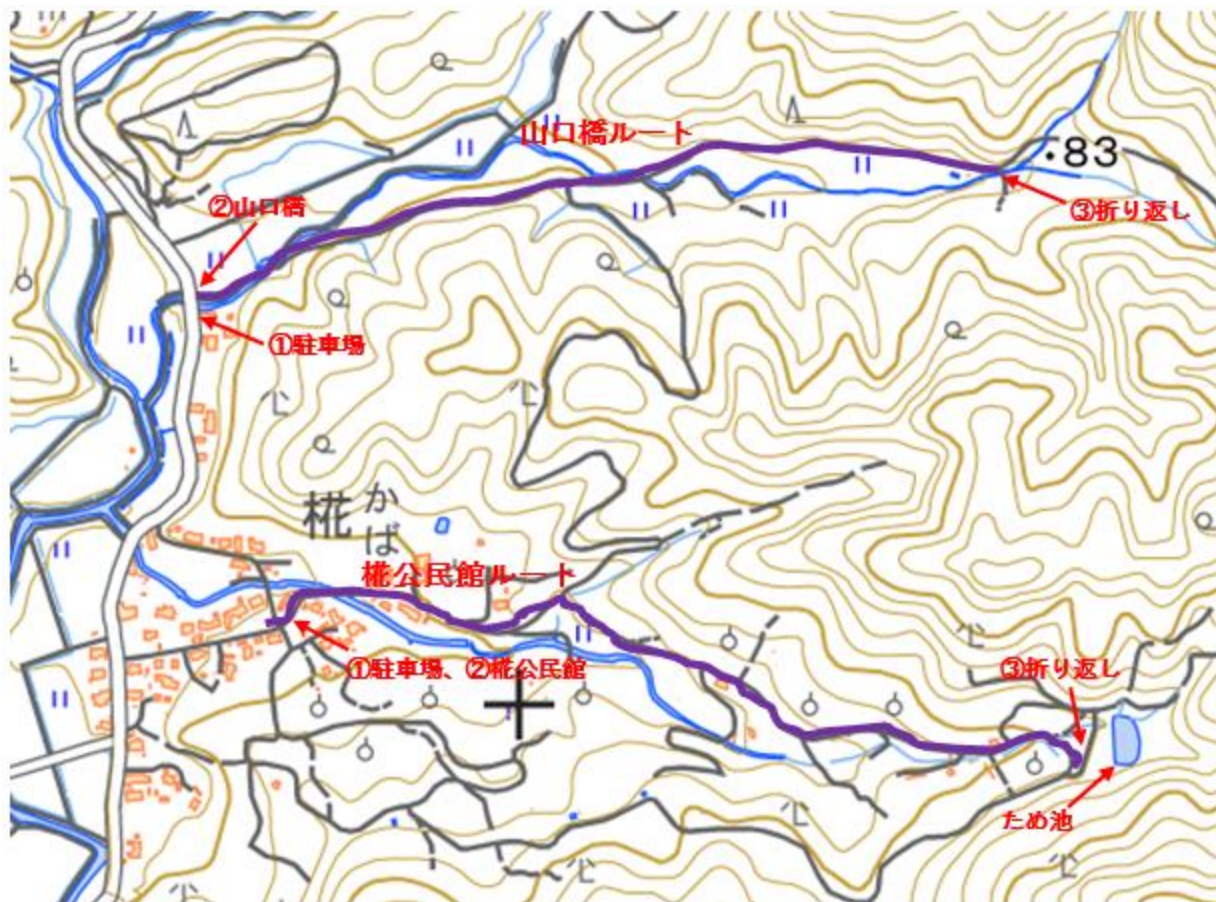
表1. 調査分野と調査実施期間

分 野	担当専門委員	春季調査	秋季調査
植 物	中島 健晴	R7.5.8	R7.10.16
鳥 類	佐藤 政明	R7.5.28	R7.10.29
昆虫類・クモ類	中嶋 秀利	R7.5.19	R7.10.10
は虫類・両生類	松永 公幸	R7.5.18	R7.9.8
ほ乳類	尾形 健二	R7.5.29	R7.10.20

3 調査区域

今回の調査では、図1のとおり、上内地区を調査区域とした。

図1. 調査区域



4 調査方法

本調査は、目視確認による現地調査を基本とし、必要に応じて聴き取り調査や文献調査等を行うこととした。

確認された生物種は分野ごとに一覧表にまとめた。備考欄に記載した記号の意味は以下のとおり。

表2. 表中で使用した記号の意味

記号	用語	意味	
IA類	絶滅危惧IA類	深刻な絶滅の危機に瀕している種、ごく近い将来に絶滅の危険性が極めて高いもの。	
IB類	絶滅危惧IB類	絶滅の危機に瀕している種、近い将来に絶滅の危険性が高いもの。	
II類	絶滅危惧II類	絶滅の危険が増大しており、将来的に絶滅のおそれのある種。	
準絶	準絶滅危惧	当面絶滅のおそれはないが、その傾向が強まっている種。	
(国)	環境省レッドリスト	環境省レッドリストを示す。	
(県)	福岡県レッドデータ	福岡県レッドデータを示す。	
特外	特定外来生物	外来生物（海外起源の外来種）であって、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるもので、国が指定したものを。	
植物のみ	木	木本類	<p>木本類とは形成層が発達し木質化するもので、おおまかにいえば年輪を有するもの。 ⇨草本類は、形成層が無い、あるいはあまり発達せず木質化しないもの。「木」の記載がないものは全て草本類。</p> <p>つる性植物については、木質化するものを木本類とし、それ以外を草本類とした。</p> <p>竹については、諸説あるので木本類とはしなかった。</p>
	外	外来植物	本来生息しない地域に、人為的に持ち込まれた植物。国内に移入された年代は諸説あるため統一された学会の見解は無いが、ここでは史前帰化と思われるものは含めないこととした。
	逸	植栽逸出	人為的に植栽されたものが、野生化して繁殖したものの。外来種については逸出を含め外来種としてまとめ、在来種の逸出のみを表示した。

表5. 確認された植物

NO.1

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	備考
		5月8日	10月16日	
シダ植物 (17科44種)				
イノモトソウ科	アマクサシダ	○	○	
	イノモトソウ	○	○	
	オオバノイノモトソウ	○		
	オオバノハチジョウシダ	○	○	
イワデンダ科	キヨタキシダ		○	
	シケチシダ	○	○	
	シロヤマシダ	○	○	
	ハラシダ	○	○	
イワヒバ科	イヌカタヒバ	○	○	
	コンテリクラマゴケ	○	○	外
	タチクラマゴケ	○	○	
ウラジロ科	ウラジロ	○		
	コシダ	○		
ウラボシ科	ヌカボシクリハラン	○		
	ノキシノブ	○		
	マメツタ	○	○	
オシダ科	イノデ	○	○	
	イノデモドキ	○	○	
	オオイタチシダ	○	○	
	オオカナワラビ	○	○	
	コバノカナワラビ	○		
	トウゴクシダ	○		
	ナガバノイタチシダ	○		
	ベニシダ	○	○	
	ヤブソテツ	○	○	
キジノオシダ科	キジノオシダ	○	○	
コバノイシカグマ科	フモトシダ	○	○	
	ワラビ	○		
シシガシラ科	オオカグマ	○	○	

表5. 確認された植物

NO.2

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	備考
		5月8日	10月16日	
シダ植物 (続き)				
ゼンマイ科	ゼンマイ	○	○	
トクサ科	オオトクサ	○		
	スギナ	○	○	
ハナヤスリ科	オオハナワラビ	○	○	
ヒカゲノカズラ科	トウゲシバ	○	○	
ヒメシダ科	コゲジゲジシダ		○	
	ヒメワラビ		○	
	ホシダ		○	
	ミゾシダ	○	○	
	ミドリヒメワラビ		○	
フサシダ科	カニクサ	○	○	
ホウライシダ科	イワガネゼンマイ	○	○	
	イワガネソウ	○		
	タチシノブ	○	○	
ホングウシダ科	ホラシノブ	○	○	
種子植物 (87科 388種) L 裸子植物 (1科 1種)				
イヌガヤ科	イヌガヤ	○		木
種子植物 (87科 388種) L 被子植物 (86科 387種) L 双子葉類 (72科 290種) L 離弁花類 (51科 190種)				
アカバナ科	コマツヨイグサ	○		外
	ヒレタゴボウ		○	外
	ミズタマソウ		○	
アケビ科	アケビ	○	○	木
	ミツバアケビ	○		木
	ムベ	○	○	木

表5. 確認された植物

NO. 3

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	備考
		5月8日	10月16日	
離弁花類 (続き)				
アブラナ科	イヌガラシ	○	○	
	オオアラセイトウ	○		外
	オランダガラシ	○		外
	ジャニンジン	○		
	タネツケバナ	○		
	ナズナ	○		
イラクサ科	アオミズ		○	
	カテンソウ	○		
	カラムシ	○	○	
	キミズ		○	
	コアカザ	○		
	コアカソ		○	
	ナガバヤブマオ		○	
	ヤブマオ	○	○	
ウコギ科	カクレミノ	○	○	木
	キツタ	○	○	木
	セイヨウキツタ	○		木、外
	タラノキ	○	○	木
	ヤツデ	○	○	木
ウマノスズクサ科	オオバウマノスズクサ	○		
ウリ科	カラスウリ		○	
	スズメウリ		○	
ウルシ科	ヌルデ	○	○	木
	ハゼノキ	○	○	木
	ヤマウルシ	○		木
	ヤマハゼ	○	○	木
カエデ科	イロハカエデ	○	○	木

表5. 確認された植物

NO. 4

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	備考
		5月8日	10月16日	
離弁花類 (続き)				
カタバミ科	オッタチカタバミ	○	○	外
	ムラサキカタバミ	○		外
キンポウゲ科	キツネノボタン	○		
	ケキツネノボタン	○		
	センニンソウ	○	○	
	ヒメウズ	○		
	ボタンヅル	○	○	木
クスノキ科	アオモジ	○	○	木
	クスノキ	○	○	木
	シロダモ	○	○	木
	タブノキ	○	○	木
グミ科	ウラギンツルグミ		○	木
	ツルグミ	○		木
	ナワシログミ	○	○	木
クワ科	イタビカズラ		○	木
	イヌビワ	○	○	木
	オオイタビ		○	木
	カナムグラ	○	○	
	クワクサ		○	
	コウゾ		○	木
	ツルコウゾ		○	木
	ヒメコウゾ	○		木
	ヤマグワ		○	木
ケシ科	ムラサキケマン	○		
ザクロソウ科	ザクロソウ		○	
シキミ科	シキミ	○	○	木

表5. 確認された植物

NO. 4

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	備考
		5月8日	10月16日	
離弁花類 (続き)				
スベリヒユ科	スベリヒユ		○	
	ハゼラン		○	
	ヒメマツバボタン		○	外
スミレ科	コスミレ	○	○	
	スミレ	○		
	タチツボスミレ	○		
	ツボスミレ	○		
セリ科	ウマノミツバ	○	○	
	オオチドメ	○		
	オオバチドメ	○	○	
	オヤブジラミ	○		
	シシウド	○		
	セリ	○		
	セントウソウ	○		
	チドメグサ		○	
	ミツバ	○	○	
	ヤブジラミ	○		
	ヤブニンジン	○		
センダン科	センダン		○	木
タデ科	アレチギシギシ	○	○	外
	イシミカワ	○	○	
	オオイヌタデ		○	
	シンミズヒキ	○		
	スイバ	○	○	
	ナガバギシギシ	○		外
	ハナタデ		○	
	ボントクタデ		○	
	ミズヒキ	○	○	
	ミゾソバ	○	○	

表5. 確認された植物

NO.5

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	備考
		5月8日	10月16日	
離弁花類 (続き)				
ツツラフジ科	アオツツラフジ	○	○	木
ツバキ科	サカキ		○	木
	チャノキ	○	○	木
	ヒサカキ	○	○	木
	モッコク	○		木
	ヤブツバキ	○	○	木
トウダイグサ科	アカメガシワ	○	○	木
	アレチニシキソウ		○	外
	エノキグサ		○	
	オオニシキソウ		○	外
	コニシキソウ		○	外
	コミカンソウ		○	
ドクダミ科	ドクダミ	○	○	
ナデシコ科	ウシハコベ	○	○	
	オランダミミナグサ	○		外
	コハコベ	○		外
	ツメクサ	○		
	ノミノツヅリ	○		
	ミミナグサ	○		
ニガキ科	ニガキ	○	○	木
ニシキギ科	コマユミ	○	○	木
	ツルウメモドキ	○	○	木
	マサキ	○	○	木
	マユミ	○		木
ニレ科	エノキ	○	○	木
	ケヤキ	○		木
	ムクノキ	○	○	木
ハイノキ科	ミミズバイ	○	○	木

表5. 確認された植物

NO. 6

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	備考
		5月8日	10月16日	
離弁花類 (続き)				
バラ科	オハビイチゴ	○		
	クサイチゴ	○	○	木
	クマイチゴ	○	○	木
	ダイコンソウ	○	○	
	ナガバモミジイチゴ	○		木
	ナワシロイチゴ	○	○	木
	ノイバラ	○	○	木
	ビロードイチゴ	○	○	
	ビワ	○		
	フユイチゴ	○	○	
	ハビイチゴ	○	○	
	ヤブハビイチゴ	○	○	
	ユキヤナギ	○	○	木 逸出
ヒユ科	イノコヅチ	○		
	ヒナタイノコヅチ	○	○	
	ホソバツルノゲイトウ		○	外
	ホナガイヌビユ		○	外
フウロソウ科	アメリカフウロ	○		外
	オトメフウロ	○		外
	ゲンノショウコ	○	○	
ブドウ科	ツタ	○		木
	ノブドウ	○	○	木
	ヤブガラシ	○	○	
ブナ科	アラカシ	○	○	木
	クヌギ	○	○	木
	クリ	○	○	木
	コジイ	○		木
	コナラ		○	木
	シリブカガシ	○		木

表5. 確認された植物

NO.7

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	備考
		5月8日	10月16日	
離弁花類 (続き)				
ブナ科 (続き)	スダジイ		○	木
ベンケイソウ科	コモチマンネングサ	○		
	マルバマンネングサ		○	
ホルトノキ科	ホルトノキ	○		木
マタタビ科	オニマタタビ	○		木 外
マツブサ科	サネカズラ	○	○	木
マメ科	アレチヌスビトハギ		○	外
	ウマゴヤシ	○		外
	オオバヌスビトハギ	○	○	
	カスマグサ	○		
	カワラケツメイ		○	
	クサネム		○	
	クズ	○	○	
	ゲンゲ	○		外
	コメツブツメクサ	○		外
	シバハギ	○	○	木 (県) II類
	シロツメクサ	○		外
	スズメノエンドウ	○		
	ツルマメ		○	
	ナツフジ	○	○	木
	ヌスビトハギ	○	○	
	ネコハギ		○	
	ネムノキ	○	○	木
	ノササゲ		○	
	ヤハズエンドウ	○		
	ヤブツルアズキ		○	
ヤブマメ	○	○		
ヤマフジ	○	○	木	

表5. 確認された植物

NO. 8

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	備考
		5月8日	10月16日	
離弁花類 (続き)				
ミカン科	カラスザンショウ	○		木
ミズキ科	クマノミズキ	○	○	木
	ナンゴクアオキ	○	○	木
	ハナイカダ	○		木
ミツバウツギ科	ゴンズイ	○	○	木
メギ科	ナンテン	○	○	木
モチノキ科	クロガネモチ	○		木
	シイモチ		○	木
	ナナミノキ	○		木
ヤナギ科	オオタチヤナギ	○		木
ヤマゴボウ科	ヨウシュヤマゴボウ	○		外
ヤマモガシ科	ヤマモガシ	○	○	木
ユキノシタ科	ウツギ	○	○	木
	コガクウツギ	○	○	木
	ヤマネコノメソウ	○		
	ユキノシタ	○		
ユズリハ科	ヒメユズリハ	○		木
合弁花類 (21科100種)				
アカネ科	アカネ	○	○	
	オオアリドオシ	○	○	木
	キクムグラ	○		
	ヒメヨツバムグラ	○		
	ヘクソカズラ		○	
	ヤエムグラ	○		
エゴノキ科	エゴノキ	○	○	木
オオバコ科	オオバコ	○	○	
	ツボミオオバコ	○	○	外
ガガイモ科	ガガイモ		○	

表5. 確認された植物

NO.9

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	備考
		5月8日	10月16日	
合弁花類 (続き)				
カキノキ科	カキノキ	○		木
キキョウ科	キキョウソウ	○		外
	ジイソブ		○	
	タニギキョウ	○		
	ヒナキキョウソウ	○		外
	ミゾカクシ	○		
キク科	アイノコセンダングサ		○	
	アキノノゲシ		○	
	アメリカセンダングサ	○		外
	アメリカタカサブロウ		○	外
	イガトキンソウ	○		外
	ウラジロチチコグサ	○	○	外
	オオアレチノギク	○		外
	オオジシバリ	○		
	オカダイコン		○	
	オニタビラコ	○	○	
	カッコウアザミ		○	外
	キツネアザミ	○		
	コオニタビラコ	○		
	コセンダングサ	○	○	外
	コメナモミ		○	
	シマカンギク	○	○	
	シュウブンソウ	○		
	シラヤマギク		○	
	シロバナタンポポ	○		
	セイタカアワダチソウ	○	○	外
セイヨウタンポポ	○		外	
ツワブキ	○	○		
ニガナ	○			
ノアザミ	○			

表5. 確認された植物

NO.10

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	備考
		5月8日	10月16日	
合弁花類 (続き)				
キク科 (続き)	ハキダメギク		○	外
	ハハコグサ	○		
	ハルジオン	○		外
	ハルノノゲシ	○		
	ヒメアザミ		○	
	ヒメジョオン	○	○	外
	ヒメムカシヨモギ		○	外
	フキ	○	○	
	ベニバナボロギク		○	外
	ムラザキニガナ	○	○	
	メリケントキンソウ	○		外
	ヤブタバコ	○	○	
	ヤブタビラコ	○		
	ヨメナ	○	○	
ヨモギ	○	○		
キツネノマゴ科	キツネノマゴ		○	
キョウチクトウ科	テイカカズラ	○	○	木
クマツヅラ科	アレチハナガサ	○	○	外
	クサギ		○	木
	ムラサキシキブ	○	○	木
	ヤブムラサキ	○		木
ゴマノハグサ科	ウリクサ		○	
	オオイヌノフグリ	○		外
	タチイヌノフグリ	○		外
	トキワハゼ	○	○	
	トラノオスズカケ	○	○	(県) IB類
	フラサバソウ	○		外
	ムシクサ	○		
サクラソウ科	コナスビ	○		

表5. 確認された植物

NO.11

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	備考
		5月8日	10月16日	
合弁花類 (続き)				
シソ科	オドリコソウ	○	○	
	カキドオシ	○	○	
	キランソウ	○		
	タツナミソウ	○		
	トウバナ	○		
	ヒメジソ		○	
	ミゾコウジュ	○		(国) 準絶
	ヤマハッカ		○	
	レモンエゴマ		○	
スイカズラ科	スイカズラ	○		木
ツツジ科	シャシャンボ	○	○	木
ナス科	アメリカイヌホオズキ		○	外
	オオイヌホオズキ		○	外
	クコ	○		木
	ハダカホオズキ		○	
	ヒヨドリジョウゴ	○	○	
ハエドクソウ科	ハエドクソウ	○	○	
ヒルガオ科	アサガオ		○	外
	ハリアサガオ		○	外
	ヒルガオ	○	○	
	ホシアサガオ		○	外
	マメアサガオ		○	外
	マルバアサガオ		○	外
	マルバルコウ		○	外
ムラサキ科	キュウリグサ	○	○	
	ハナイバナ	○		
モクセイ科	ネズミモチ	○	○	木
	ヒイラギ		○	木

表5. 確認された植物

NO.12

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	備考
		5月8日	10月16日	
合弁花類 (続き)				
ヤブコウジ科	イズセンリョウ	○	○	木
	マンリョウ	○	○	木
	ヤブコウジ		○	木
種子植物 (87科 388種) ↳ 被子植物 (86科 387種) ↳ <u>単子葉類 (14科 97種)</u>				
アヤメ科	シャガ	○	○	外
	ニワゼキショウ	○		外
	ヒメヒオウギズイセン	○		外
イグサ科	コウガイゼキショウ	○		
	ホソイ	○		
イネ科	アキノエノコログサ		○	
	アキメヒシバ		○	
	アシボソ		○	
	イタチガヤ	○	○	
	イヌビエ		○	
	イヌムギ	○		外
	エノコログサ		○	
	オオクサキビ		○	外
	オニウシノケグサ	○		外
	オヒシバ		○	
	カズノコグサ	○		
	カゼクサ		○	
	カモガヤ	○		外
	カモジグサ	○		
	カラスムギ	○		外
	ギョウギシバ	○	○	
	クマザサ	○	○	
	コツブキンエノコロ		○	
コメヒシバ		○		

表5. 確認された植物

NO.13

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	備考
		5月8日	10月16日	
単子葉類 (続き)				
イネ科 (続き)	ササガヤ	○		
	ササクサ		○	
	シバ	○		
	ジュズダマ		○	外
	ススキ	○	○	
	スズメノカタビラ	○		
	スズメノテッポウ	○		
	セイバンモロコシ		○	外
	タチスズメノヒエ		○	外
	チガヤ	○	○	
	チカラシバ		○	
	チヂミザサ	○	○	
	トウチク	○		外
	トキワススキ		○	
	トボンガラ	○		
	ナギナタガヤ	○		外
	ヌカススキ	○		外
	ヌカボ	○		
	ネザサ		○	
	ネズミノオ		○	
	ノガリヤス		○	
	ハチク	○	○	外
	ヒメコバンソウ	○		外
	ミゾイチゴツナギ	○		
	メダケ	○	○	
	メリケンカルカヤ		○	外
モウソウチク	○	○		
カヤツリグサ科	アイダクグ		○	
	カヤツリグサ		○	
	クグガヤツリ		○	

表5. 確認された植物

NO.14

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	備考
		5月8日	10月16日	
単子葉類 (続き)				
カヤツリグサ科 (続き)	シラスゲ	○	○	
	ナキリスゲ	○	○	
	ヌカスゲ	○		
	ハマスゲ	○		
	ヒメクグ		○	
	マスクサ	○		
カンナ科	カンナ		○	外
サトイモ科	カラスビシャク	○	○	
	ショウブ		○	
	セキショウ	○		
	ムサシアブミ	○	○	
ショウガ科	ハナシユクシユ		○	外
	ハナミョウガ	○	○	
	ミョウガ	○	○	
ツユクサ科	イボクサ	○		
	ツユクサ	○	○	
	マルバツユクサ	○	○	外
	ミドリハカタカラクサ		○	外
	ヤブミョウガ	○	○	
ヒガンバナ科	ショウキズイセン		○	外
	シロバナマンジュシャゲ		○	
	タマスダレ	○	○	外
	ヒガンバナ		○	
ビャクブ科	ヒメナベワリ	○	○	(県) 準絶
ヤシ科	シュロ	○		木
ヤマノイモ科	オニドコロ	○	○	
	カエデドコロ	○	○	
	ヤマノイモ		○	

表5. 確認された植物

NO.15

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	備考
		5月8日	10月16日	
単子葉類 (続き)				
ユリ科	ウバユリ	○	○	
	サルトリイバラ	○	○	木
	シオデ	○		
	ジャノヒゲ	○	○	
	台湾ホトトギス	○		外
	ツルボ	○	○	
	ナガバジャノヒゲ	○	○	
	ナルコユリ	○		
	ニラ		○	
	ノビル	○	○	
	ハラン	○	○	
	ハウチャクソウ	○	○	
	ヤブラン	○		
ラン科	コクラン	○	○	
	シュンラン	○		

(2) 鳥類

- ◆ 6目19科24種が確認された。

表6. 確認された主な鳥類

 <p>アオゲラ (写真提供：日本野鳥の会筑後支部)</p>	<p>全長 29 cm。雄は頭上から後頸（こうけい）と顎線が赤い。雌は頭頂と後頸が赤くなく、後頭が赤い。顔と側頸（そくけい）は灰色。背は緑褐色、腰から尾も緑褐色。日本固有種。留鳥として本州・四国・九州・大隅諸島に分布する。生息場所は、平地から山地のよく茂った林。</p> <p>(出典：日本の鳥 550 山野の鳥 増補改訂版)</p>
 <p>カワセミ (写真提供：日本野鳥の会筑後支部)</p>	<p>全長 17 cm。上面は青緑色で、額から後頭は翅（はね）の先端近くに青い斑（まだら）がある。耳羽後方に白斑（はくはん）がある。背から上尾筒は光沢のある鮮やかな青。尾は青い。胸と腹は赤褐色で、喉は白い。足は鮮やかな赤。雄は嘴（くちばし）が黒い。雌は下嘴（かし）基部寄り半分がオレンジ色。日本ではほぼ全国に分布する。北海道では冬季南下する。生息場所は、平地から低山の河川・池・湖沼。</p> <p>(出典：日本の鳥 550 山野の鳥 増補改訂版)</p>

表7. 確認された鳥類

NO.1

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	備考
		5月28日	10月29日	
カッコウ目(1科1種)				
カッコウ科	ホトトギス	○		
キジ目(1科1種)				
キジ科	コジュケイ	○		
キツツキ目(1科2種)				
キツツキ科	アオゲラ	○		
	コゲラ	○	○	
スズメ目 (14科18種)				
アトリ科	カワラヒワ	○	○	
ウグイス科	ウグイス	○	○	
エナガ科	エナガ	○	○	
カササギヒタキ科	サンコウチョウ	○		
カラス科	ハシブトガラス	○	○	
	ハシボソガラス	○		
サンショウクイ科	リュウキュウサンショウクイ	○		
シジュウカラ科	シジュウカラ	○	○	
	ヤマガラ	○	○	
スズメ科	スズメ	○		
セキレイ科	キセキレイ		○	
ソウシチョウ科	ソウシチョウ	○		
ヒタキ科	オオルリ	○		
	キビタキ	○		
	ジョウビタキ		○	
ヒヨドリ科	ヒヨドリ	○	○	
ホオジロ科	ホオジロ	○	○	
メジロ科	メジロ	○		
ハト目 (1科1種)				
ハト科	キジバト	○	○	

表7. 確認された鳥類

NO.2

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	備考
		5月28日	10月29日	
ブッポウソウ目(1科1種)				
カワセミ科	カワセミ	○		

(3) 昆虫類・クモ類

- ◆ 12目91科195種が確認された。

表8. 確認された主な昆虫類・クモ類

	<p>大きさは12~20 mm 全国/5~11月/ 平地~山。全身が金属光沢のある青色。ドロバチ類の幼虫に寄生する (出典：日本の昆虫 1400)</p>
	<p>大きさは5.0~6.0 cm 北海道、本州、四国、九州/3~10月/平地~山。翅表(しひょう)・裏面の翅脈(しみゃく)が黒色となる部分がある。裏面に黒色点は散らばらない。林縁やその周辺で見られるほか、畑にも現れる (出典：日本の昆虫 1400)</p>
	<p>大きさは7~12 mm 全国/平地~高山 ヒラタアブ類では最も普通に見られる種。季節によって腹部の斑紋(はんもん)が変わる。幼虫はアブラムシを食べる (出典：日本の昆虫 1400)</p>

オオセイボウ

スジグロシロチョウ

ホソヒラタアブ

表9. 確認された昆虫類・クモ類

NO.1

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	備考
		5月19日	10月10日	
カマキリ目 (1科2種)				
カマキリ科	オオカマキリ	○	○	
	ハラビロカマキリ	○	○	
カメムシ目 (10科16種)				
アメンボ科	アメンボ	○	○	
	シマアメンボ	○	○	
オオヨコバイ科	ツマグロオオヨコバイ	○	○	
カメムシ科	アオクサカメムシ	○	○	
	ウシカメムシ	○		
	キマダラカメムシ	○	○	
セミ科	アブラゼミ		○	
	クマゼミ		○	
	ツクツクボウシ		○	
ツチカメムシ科	ツチカメムシ	○		
ハゴロモ科	アミガサハゴロモ		○	
ハナカメムシ科	ヤサハナカメムシ	○	○	
ヘリカメムシ科	ホオズキカメムシ	○	○	
ホソヘリカメムシ科	クモヘリカメムシ	○		
	ホソヘリカメムシ	○		
マルカメムシ科	マルカメムシ	○	○	
コウチュウ目 (21科41種)				
オオキノコムシ科	アカハバビロオオキノコ		○	
	ミヤマオビオオキノコ	○		
オトシブミ科	モモチョッキリ	○		
カツオブシムシ科	ヒメマルカツオブシムシ		○	
カミキリムシ科	キボシカミキリ	○		
	キマダラカミキリ		○	
	ゴマダラカミキリ		○	
	ノコギリカミキリ		○	
	ベニカミキリ	○		
	ラミーカミキリ	○		

表9. 確認された昆虫類・クモ類

NO.2

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	備考
		5月19日	10月10日	
コウチュウ目 (続き)				
カミキリムシ科(続き)	リンゴカミキリ	○		
ガムシ科	ヒメガムシ		○	
クワガタムシ科	コクワガタ	○	○	
	ヒラタクワガタ		○	
ゲンゴロウ科	ハイイロゲンゴロウ	○	○	
コガネムシ科	アオドウガネ	○		
	カナブン		○	
	クロコガネ	○	○	
	シロテンハナムグリ	○	○	
	ヒメコガネ	○	○	
	ビロウドコガネ		○	
ゴミムシダマシ科	キマワリ	○	○	
	ホソスナゴミムシダマシ	○	○	
	ユミアシゴミムシダマシ	○	○	
コメツキムシ科	サビキコリ	○		
シテムシ科	チョウセンベッコウヒ ラタシテムシ		○	
	ヨツボシモンシテムシ		○	
ジョウカイボン科	ジョウカイボン	○		
センチコガネ科	センチコガネ	○	○	
ゾウムシ科	オジロアシナガゾウムシ	○	○	
ツチハンミョウ科	ヒメツチハンミョウ	○		
テントウムシ科	ナナホシテントウ	○	○	
	ナミテントウ	○	○	
	ニジュウヤホシテントウ	○		
ハネカクシ科	アオバアリガタハネカクシ	○	○	

表9. 確認された昆虫類・クモ類

NO.3

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	備考
		5月19日	10月10日	
コウチュウ目 (続き)				
ハムシ科	アカガネサルハムシ	○		
	ホタルハムシ		○	
ハンミョウ亜科	ハンミョウ		○	
ベニホタル科	カクムネベニボタル	○		
ホタル科	オバボタル	○	○	
ゴキブリ目 (1科1種)				
チャバネゴキブリ科	モリチャバネゴキブリ	○	○	
シリアゲムシ目 (1科1種)				
シリアゲムシ科	ヤマトシリアゲ	○	○	
チョウ目 (14科52種)				
アゲハチョウ科	アオスジアゲハ	○	○	
	アゲハ	○	○	
	カラスアゲハ	○	○	
	キアゲハ	○		
	ジャコウアゲハ	○	○	
	ナガサキアゲハ	○	○	
	モンキアゲハ	○	○	
イラガ科	ヒロヘリアオイラガ	○	○	
シジミチョウ科	ウラギンシジミ	○		
	ツバメシジミ	○	○	
	ベニシジミ	○	○	
	ムラサキシジミ	○	○	
	ムラサキツバメ		○	
	ヤマトシジミ	○	○	
	ルリシジミ	○		
シロチョウ科	キタキチョウ	○	○	
	スジグロシロチョウ	○	○	
	モンキチョウ	○	○	

表9. 確認された昆虫類・クモ類

NO.4

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	備考
		5月19日	10月10日	
チョウ目 (続き)				
シロチョウ科 (続き)	モンシロチョウ	○	○	
スズメガ科	オオスカシバ	○		
	ベニスズメ	○		
	ホシホウジャク		○	
	メンガタスズメ		○	
セセリチョウ科	イチモンジセセリ		○	
	キマダラセセリ		○	
	クロセセリ		○	
	ダイミョウセセリ	○		
	チャバネセセリ		○	
タテハチョウ科	アカタテハ	○	○	
	イシガケチョウ		○	
	キタテハ	○	○	
	クロコノマチョウ	○	○	
	クロヒカゲ	○	○	
	ゴマダラチョウ	○	○	
	コミスジ	○	○	
	ツマグロヒョウモン		○	
	テングチョウ	○		
	ヒメアカタテハ	○	○	
	ヒメウラナミジャノメ	○	○	
	ヒメジャノメ	○	○	
	メスグロヒョウモン		○	
	ルリタテハ		○	
ドクガ科	ゴマフリドクガ	○	○	
	チャドクガ	○	○	
ヒゲナガガ科	ウスベニヒゲナガ	○		
ヒトリガ科	カノコガ		○	

表9. 確認された昆虫類・クモ類

NO.5

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	備考
		5月19日	10月10日	
チョウ目 (続き)				
ヒロズコガ科	マダラマルハヒロズコガ	○		
マダラガ科	ウメスカシクロバ	○		
	ブドウスカシクロバ	○	○	
ミノガ科	クロツヤミノガ	○	○	
	チャミノガ	○	○	
ヤガ科	フトメイガ	○	○	
トンボ目 (6科22種)				
アオイトトンボ科	オオアオイトトンボ	○	○	
	ホソミオツネトンボ	○	○	
イトトンボ科	アオモンイトトンボ	○	○	
カワトンボ科	アサヒナカワトンボ	○		
	ハグロトンボ		○	
サナエトンボ科	ヤマサナエ	○		
トンボ科	アオビタイトンボ		○	
	ウスバキトンボ	○		
	オオシオカラトンボ	○	○	
	シオカラトンボ	○	○	
	シオヤトンボ	○		
	チョウトンボ		○	
	ノシメトンボ		○	
	ハラビロトンボ	○	○	
	ベニトンボ	○	○	
	マユタテアカネ		○	
ヤンマ科	オオヤマトンボ	○	○	
	オニヤンマ	○	○	
	クロスジギンヤンマ		○	
	コシアキトンボ		○	
	サラサヤンマ	○		
	ヤブヤンマ	○		

表9. 確認された昆虫類・クモ類

NO.6

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	備考
		5月19日	10月10日	
ハエ目 (9科11種)				
アシナガバエ科	マダラアシナガバエ	○		
カ科	ヒトスジシマカ	○	○	
ガガンボ科	ミカドガガンボ	○	○	
ニクバエ科	センチニクバエ	○	○	
ハナアブ科	ホソヒラタアブ	○	○	
	ムツボシハナモドキハナアブ	○	○	
ミズアブ科	コウカアブ		○	
	ルリミズアブ	○		
ムシヒキアブ科	オオイシアブ		○	
ヤドリバエ科	ヒロズキンバエ	○	○	
ユスリカ科	セスジユスリカ	○	○	
ハチ目 (7科16種)				
アリ科	アミメアリ	○	○	
	クロオオアリ		○	
	クロヤマアリ		○	
	チクシトゲアリ	○		
	トビイロシワアリ	○	○	
	ムネアカオオアリ	○		
クモバチ科	ベッコウバチ		○	
コハナバチ科	アオスジハナバチ		○	
スズメバチ科	オオスズメバチ	○	○	
	コガタスズメバチ	○	○	
	セグロアシナガバチ	○	○	
セイボウ科	オオセイボウ		○	
ヒメハナバチ科	ウツギヒメハナバチ	○	○	
ミツバチ科	キムネクマバチ	○		
	トラマルハナバチ	○		
	ニホンミツバチ	○	○	

表9. 確認された昆虫類・クモ類

NO.7

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	備考
		5月19日	10月10日	
バッタ目 (8科11種)				
イナゴ科	ツチイナゴ	○	○	
オンブバッタ科	オンブバッタ	○	○	
カネタタキ科	カネタタキ	○	○	
キリギリス科	ニシキリギリス	○	○	
	ホシササキリ		○	
コオロギ科	ツツレサセコオロギ	○	○	
バッタ科	イボバッタ		○	
	ハネナガイナゴ		○	
	マダラバッタ	○		
ヒバリモドキ科	マダラスズ	○	○	
マツムシ科	アオマツムシ	○		
クモ目 (12科21種)				
アシナガグモ科	コシロカネグモ	○	○	
	チュウガタシロカネグモ	○	○	
	ヤサガタアシナガグモ	○		
ウズグモ科	ウズグモ	○	○	
カニグモ科	ハナグモ	○	○	
	ヤミイロカニグモ	○		
コガネグモ科	コガネグモ	○	○	
	ゴミグモ	○	○	
	ドヨウオニグモ		○	
	ワキグロサツマノミダマシ	○	○	
コモリグモ科	キクツキコモリグモ	○	○	
ササグモ科	ササグモ	○	○	
ジグモ科	ジグモ	○	○	
ジョロウグモ科	ジョロウグモ	○	○	

表9. 確認された昆虫類・クモ類

NO.8

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	備考
		5月19日	10月10日	
クモ目 (続き)				
タナグモ科	コクサグモ	○	○	
ハエトリグモ科	アオオビハエトリ		○	
	アリグモ	○		
	ネコハエトリ	○	○	
ヒメグモ科	シロカネイソウロウグモ		○	
	ヒメグモ	○	○	
ヒラタグモ科	ヒラタグモ		○	
ザトウムシ目 (1科1種)				
ザトウムシ科	ザトウムシ		○	

(4) は虫類・両生類

- ◆ 3目5科6種が確認された。
- ◆ 環境省準絶滅危惧、福岡県絶滅危惧Ⅱ類のアカハライモリが確認された。

表10. 確認された主な は虫類・両生類



 <p>アカハライモリ</p>	<p>国：準絶滅危惧 県：絶滅危惧Ⅱ類</p> <p>山間の水田や細流、用水路、ため池などの水辺で見られることが多いが水辺付近の林床からもみいだされる。繁殖期は4月頃から始まり、雌は卵を一粒ずつ水中の落ち葉や水草の葉などに包んで産みつける。孵化（ふか）後約2か月ほどで変態上陸し、幼体は森林の林床で土壌動物を食べて成長する。日本固有種。</p> <p>(出典：福岡県の希少野生生物 福岡県レッドデータブック 2024)</p>
 <p>ニホンカナヘビ</p>	<p>尾が非常に長く、ヘビのように細長いことから“愛蛇(かなへび)”と呼ばれます。昼行性で、登る能力も高く、主に林縁のガレ場や草の上で日光浴をしている姿が見かけられます。繁殖期は主に5~8月で、石や倒木の下などに6~10mm程の殻のある卵を2~6個産みます。夜は落ち葉の間や草の葉の上で眠り、10~4月になると石の下や土の中で冬眠します。全長16~27cmくらいで、卵からふ化した時の大きさは全長で7~9cmほどです。</p> <p>(出典：いきものログ 環境省生物多様性センター)</p>

表11. 確認された は虫類・両生類

NO.1

科名	種名 (和名)	春季調査	秋季調査	備考
		5月18日	9月8日	
は虫綱 有鱗目 (2科2種)				
カナヘビ科	ニホンカナヘビ	○	○	
ナミヘビ科	カラスヘビ	○		シマヘビの黒化型
両生綱 有尾目 (1科1種)				
イモリ科	アカハライモリ	○		(国)準絶、(県)Ⅱ類
両生綱 無尾目 (2科3種)				
アカガエル科	ツチガエル		○	
	ニホンアカガエル		○	
ヌマガエル科	ヌマガエル	○	○	

(5) ほ乳類

- ◆ 2目4科5種が確認された。
- ◆ 特定外来生物のアライグマの爪痕が確認された。

表12. 確認された主な ほ乳類

 <p style="text-align: center;">アライグマの爪痕</p>	<p>特定外来生物</p> <p>頭胴長 42～60cm 尾長 19.2～40.5cm 体重 6～10kg</p> <p>北アメリカ原産の帰化種で、動物展示施設から逃げ出したり、ペットとして輸入したものが逃亡・放棄され、各地で野生化した。日本に定着して数十年、記録上では全都道府県で侵入情報があるという。水辺を好み、木のぼりも得意。雑食性で何でも食べ、数頭で移動することから農作物に多大な被害をもたらす。アライグマの影響で、生息環境や生活スタイルの似るイタチが駆逐（くちく）された地域もある。また、在来種のキツネやタヌキなどへの影響も心配される。特定外来生物。</p> <p style="text-align: right;">(出典：『哺乳類のフィールドサイン観察ガイド』)</p>
 <p style="text-align: center;">ニホンジカの足跡</p>	<p>頭胴長 90～190cm 肩高 60～130cm 尾長 11～13cm 体重 25～130kg</p> <p>本来は草原性の動物だが、多くのシカはスギやヒノキなどの植林地に生息する。例えば、宮城県の金華山や奈良県の春日山で見るシカが、本来の生息地に近いのかもしれない。採食のために草地や伐採地、田んぼや畑などにも姿を現す。シカの夏毛（鹿の子模様）は、木漏れ日などに紛れる隠蔽（いんぺい）擬態とされているが、人間の目には鮮やかなオレンジに近い色に見える、新緑の中で目立つ。冬毛は、灰褐色に変わる。シカとカモシカのフィールドサインは似ているので、一緒に見つかる他の痕跡（こんせき）を複合的に検証する必要がある。日本にシカは北海道から慶良間諸島まで7亜種が分布し、南に行くほど小型になる傾向がある。本州で見られるのはホンジュウジカ (<i>C. n. centralis</i>)</p> <p style="text-align: right;">(出典：『哺乳類のフィールドサイン観察ガイド』)</p>

表13. 確認された ほ乳類

NO.1

科 名	種 名 (和 名)	春季調査	秋季調査	備 考
		5月29日	10月20日	
偶蹄目 (2科2種)				
イノシシ科	イノシシ	○	○	食痕を確認
シカ科	ニホンジカ	○	○	足跡を確認
食肉目 (2科3種)				
アライグマ科	アライグマ	○	○	特外、爪痕を確認
イタチ科	アナグマ	○	○	食痕を確認
	テン	○		糞を確認

6 まとめ

今回の調査では、のべ212科642種の生物が確認された（表14参照）。

また、2種の希少生物が確認された（表15参照）。

表14. 調査結果まとめ

	目	科	種
植 物		104	432
鳥 類	6	19	24
昆 虫 類	10	78	173
クモ類	2	13	22
は虫類	1	2	2
両生類	2	3	4
ほ乳類	2	4	5
合 計	23	223	662

表15. 確認された希少生物まとめ

	I A類 (国)	I B類 (国)	II類 (国)	準絶 (国)	その他
植 物				ミゾコウジュ	トラノオスズカケ【I B】 シバハギ【II類】 ヒメナベワリ【準絶】
鳥 類					
昆虫類					
両生類				アカハライモリ【II類】	

※表中各列のタイトルは環境省のレッドリストの分類を表し、【 】内は、福岡県のレッドデータの分類を表す。

今年度は、上内地区の調査を行った。調査は各分野2回（春季・秋季）行い、2種の希少生物、1種の特定外来生物を含む662種の生物を確認できた。

今回の調査で新たに確認された希少生物がいる一方、H23年度に確認された希少生物が確認されなかった。しかし決まったルート上での調査であるため、必ずしも生息していないとはいえ、さらに把握を進めるためにも、引き続き調査の実施が求められる。

発行日 / 令和8年5月

編集・発行 / 大牟田市環境部環境保全課

〒836-8666 大牟田市有明町2丁目3番地

TEL : 0944 (41) 2721 FAX : 0944 (41) 2722

